

事務事業名 地方創生総合戦略策定事業		所属部 政策企画部	所属課 政策推進課	
総合計画体系	政策名 (I)みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G チャレンジ創生G	課長名 熱田勇二	
	施策名 (07)計画的なまちづくり	担当者名 鳥谷健二	電話番号 0854-40-1011 (内線) 2332	
	目的 対象 市の施策 意図 計画的に目標を達成する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 5 2 0	企画総務管理事業	
	基本事業名 (021)基本計画の策定と進行管理 目的 対象 施策 意図 計画的に施策を展開する。		地方創生総合戦略推進事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 27 年度～ 31 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
地方創生総合戦略の着実な推進を図るため、庁内推進体制に基づく事業推進に加え、適切な助言や指導等を頂く外部アドバイザーの配置等を行い、総合戦略の改訂、アクションプラン(各プロジェクトの取組方針や目的・KPI設定等)の策定、改訂や進行管理、積極的な情報発信等を行う。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・PT会議、対策委員会、対策本部の開催 ・外部アドバイザー配置(総合戦略推進アドバイザー・情報発信アドバイザー) ・雲南市版CCRC導入モデル検討調査(業務委託) ・勉強会・情報交換会の開催	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ・PT会議、対策委員会、対策本部の開催 ・外部アドバイザー配置(総合戦略推進アドバイザー・情報発信アドバイザー) ・勉強会・情報交換会の開催				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 総合戦略アドバイザー業務日数	日			40	40
	イ 情報発信アドバイザー業務日数	日			40	20
	ウ PT会議の開催数	回			23	16
	エ 勉強会の開催数	回			3	3

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	地方創生総合戦略	ア 定住PTの重点分野数	分野			4	4
		イ チャレンジPTのプロジェクト数	プロジェクト			6	6
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
着実な推進を図るKPIを達成する	ア 重要KPIの達成率	%			50.0	60.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
・報償費(講師謝金) 246千円 ・委託費(総合戦略推進アドバイザー) 3,550千円 ・委託費(情報発信アドバイザー) 2,160千円 ・委託費(CCRC調査) 499千円 合計 6,455千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円			6,455		
		千円					
		千円					520
		千円				6,455	520
		人				1	
		時間				400	
人件費計(B)	千円						
トータルコスト(A)+(B)	千円				6,455		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
第2次総合計画、総合戦略において、特にH27～31年度にかけて人口社会増への転換を目標に取り組むこととしている。国においても「人口減少の克服」と「成長力の確保」を目標に掲げ、取り組みが進められている。	情報発信PTについて、有効性・効率性を高めるため、H28年度より定住PTと統合するよう改善を行う。	市議会や総合計画推進委員会から、総合計画・総合戦略の実現に向けKPI達成を図るよう意見をいただいている。

事務事業名	地方創生総合戦略策定事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信PTについて、有効性・効率性を高めるため定住PTと総合する。</li> <li>・成果の見える化、共有化を図り、成果拡大に向けプロジェクト間の連携促進を図る。</li> <li>・プロジェクトに主体的に関わる市民や団体の巻き込みを図る。</li> </ul>	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合計画・総合戦略の着実な推進を図るため必要であり、廃止した場合、総合計画・総合戦略の推進に大きな影響がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はないため、統廃合は出来ない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	アドバイザー業務の改善等を図ることにより、事業費の削減につなげる。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	総合計画や総合戦略の推進、成果創出に向け必要な人員体制により取り組んでおり、削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	総合計画、総合戦略の適正な進行管理を図るものであり、公平公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	重点戦略の生態系図(ビジョンマップ)の作成や、取り組み方針・事務事業の整理・KPI設定などにより総合戦略の具体化が図れた。これにより、PTメンバー間の意識共有も図れつつあり、今後、実践段階での連携促進と、全職員への周知・意識啓発を進めていく。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度事業の実績評価を行い、H28年度事業の改善とH29年度の事業企画につなげていく。(PDCAの実施)</li> <li>・情報発信PTは、有効性・効率性を高めるため定住PTと総合する。</li> <li>・成果の見える化、共有化を図り、成果拡大に向けプロジェクト間の連携促進を図る。</li> <li>・プロジェクトに主体的に関わる市民や団体の巻き込みを図る。</li> <li>・職員研修の場を設け、全職員への周知・意識啓発を図る。</li> <li>・「子ども×若者×大人チャレンジの連鎖」の成果の見える化と市民の参加意識の拡大を図るため、関係者や市民の学び合いの場としてシンポジウム(チャレンジ2DAYS)を開催する(10月予定)</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							